

□ アナリスト週間相場予想

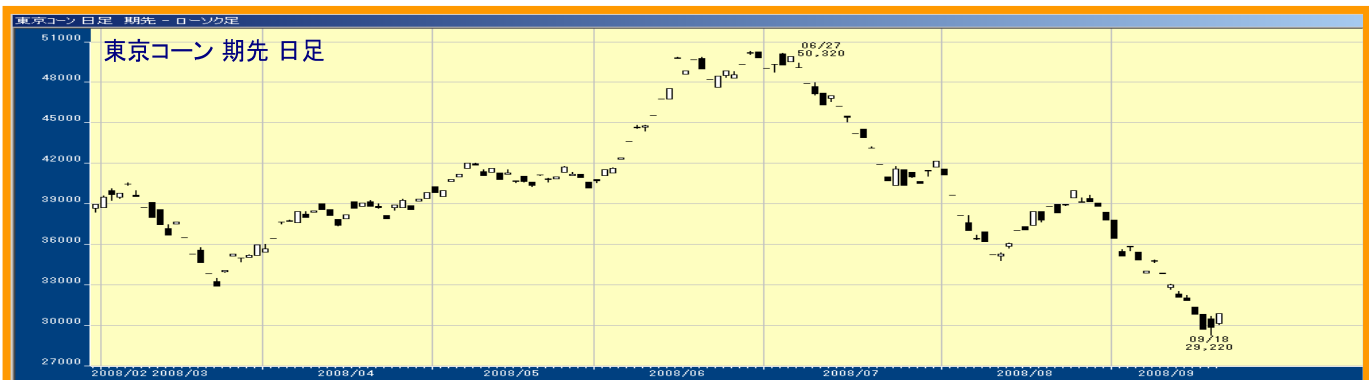
	 コーン Corn	 大豆 Soybean
江崎		
西		

Pick up News

〔注目スケジュール〕

- 9/19 米商品先物取引委員会 (CFTC) 建玉報告
- 22 米農務省 (USDA) 週間輸出検証高
USDAクロープ・プログレス
- 25 米大豆圧砕高
USDA週間輸出成約高
- 26 CFTC建玉報告

□ テクニカル分析 (担当: 西 勝之)



コーンは今週30000円の攻防でほぼ横這い。USDAが強材料視されて反発するかもと思われたが殆ど反応せず連日頭重い展開となっている。正直これではパターン分析は不可能。そこで単純な波動分析で見ると直近の下降波動は8/25高値39960円を起点として9/18安値29220円まで10740円、これは6月27日50320円から7月24日40350円までの波動と日柄・値幅共にほぼ一致する。よって目先は反発を警戒することになると思うが正直下げ止まった感はあるも上昇に転じるテクニカルサインは今の所無し。よって3月の安値32870円や8/12安値34750円をレジスタンスとし、直近安値29220円をサポートラインとして逆バリ中心の戦略が有効であろう。ただし、内部要因は弱気筋の回転が効いており、買い方の値洗いは殆どが水つかり。玉整理が遅れている分売り方に分があると見ておく必要がある為アイコンは売りとしておく。

対して一般大豆はコーンに比して対シカゴ鞘がこの一週間で急速に割安度合いを進めた。よって東京市場は大幅な割安感があり、コーン売りのヘッジとして使うべきであろう。しかも9/18引け時点の14本RSIは1.43とかなりの低水準となっており売られすぎ感もコーンより酷い。50000円を確りサポートするのを見届ければ買い参入も可である。(9/19 14:10現在)

□ ファンダメンタル分析 (担当: 江崎 和弘)

米農務省が発表した9月需給報告は、コーン・大豆いずれもイールド(1エーカー当たり収量)が下方修正されたことで、双方にとって支援材料であったと評価出来る。事前にFCストーン社やインフォーマ社が上方修正観測を出していたことで、インパクトの度合いが高まったのも事実。しかしながら、シカゴ市場の反応は発表当日こそ急騰を見せたものの、翌日以降は手のひらを返したように急落となった。これには米金融危機の高まりという外部要因が大きく関わっている。特に、AIGの救済に関しては、同社の持つインデックス・ファンドの建玉決済の可能性が囁かれ、過剰反応めいた動きが見られたのも事実である。大口ポジションに対しては、市場外での相対取引やポジション移管によって対応されることが実際は多いものの、引き受け手のヘッジ売り(インデックス・ファンドが基本的に買いポジションのため)圧力につながるの疑いがない。ただ、こうした思惑錯綜も片付き、市場は徐々に固有のファンダメンタルズに回帰した動きになるものと考えたい。

需給バランスや米国の現物需給を鑑みれば、穀物相場はかなり割安感強い状況にある。あとはシカゴ市場でのファンド筋の売りさえ止まれば、きれいに反転を描く公算が大きい。それにはまず代表銘柄である原油がしっかりと底打ちを見せること、そして株価や為替が安定することが前提条件となりそうだ。ようやく売り一辺倒から風向きが変わり始めた折だけに、まずは打診買いから入ってみたいところ。金融市場の動きが急速なだけに安心感はないが、そろそろ売り方は撤退の用意しておくべきであろう。

◆添付されている『取引の重要事項』をかならずご確認ください。

▼商品先物取引のリスクについて

商品先物取引は、相場の変動により利益も損失も生ずるおそれのある取引です。また、取引本証拠金の額に比べて約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、預託した取引証拠金の額を上回る損失が発生することがあります。

▼取引証拠金とレバレッジについて

商品先物取引は委託に際して取引証拠金の預託が必要となります。お取引を始める際に預託する取引本証拠金の額は商品により異なり、最低取引単位(1枚)あたり13,000円から210,000円でお取引いただけます。但し、実際の取引金額は取引本証拠金の額の約15倍から約40倍という著しく大きな額になります。また取引証拠金等は、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になることがありますので注意が必要です。またその額は、商品や相場の変動によって異なり、一様ではありません。
※上記取引証拠金は2008年9月1日現在の金額です。

▼取引手数料について

商品先物取引の委託には委託手数料がかかります。その額は商品によって異なりますが、最低取引単位(1枚)あたり1,154円(往復)から16,800円(往復)となります。
※上記委託手数料は2008年9月1日現在の金額です。

▼自己判断

この資料は投資の参考となる情報提供を目的とするものです。投資の決定はご自身の責任と判断でなされますようお願い申し上げます。

※エイチ・エス・フューチャーズは日本商品先物取引協会に加入しております。
※当社の企業情報に関するディスクロージャー資料は当社(本社・支店及びホームページ)又は、日本商品先物取引協会(本部・支部及びホームページ)で閲覧できます。

※お取引に関する苦情・ご相談は、下記の窓口にて承っております。

エイチ・エス・フューチャーズ 苦情相談センター

TEL: 0120-50-4288

東京都新宿区西新宿5丁目3番2号

日本商品先物取引協会 相談センター

[本部]

TEL: 03-3664-6243 東京都中央区日本橋小網町9番4号 日商協ビルディング3階

[中部支部]

TEL: 052-220-1652 愛知県名古屋市中区丸の内1-16-2 中部大阪商品取引所2階

[関西支部]

TEL: 06-6543-8502 大阪府大阪市西区阿波座1-10-14 関西商取ビル4階

商品取引員 エイチ・エス・フューチャーズ株式会社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿5丁目3番2号 TEL: 03-3299-0301(代表)